



新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援GP) 学びあい・支え合いの地域教育の拠点の創生

～地域ぐるみで「共創力」を育む学生支援～

取組の概要

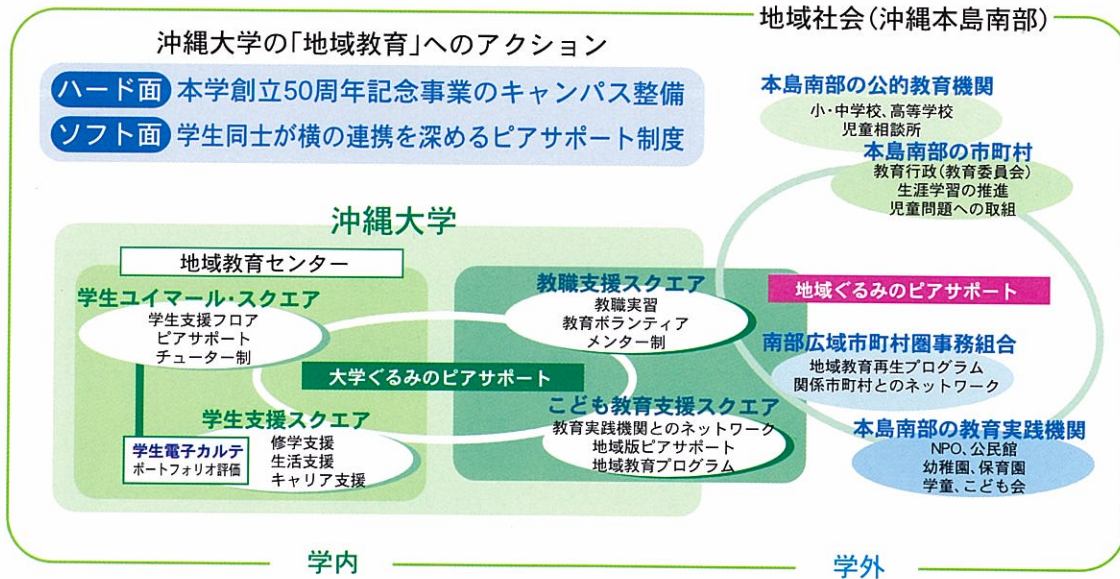
本学は「地域に根ざす」ことを基本理念とし、「競争力（知識量）よりも共創力（参画意欲）」との教育方針に基づき、2000名程度の多様な学生が在籍しています。しかし沖縄の状況を反映して、中途退学率が高く、多様な学生支援が必要とされています。そこで本学の小さな規模を活かし、教職員と学生が共創して「学生ユイメール」（相互扶助）の場を広げ、学生たちが「学びあい」「支えあい」を実現する「地域教育モデル」を確立することを目指します。「地域教育力再生」という社会的ニーズにも応えるために、多様なピアサポート制度を活用した学生参加型の「地域教育」を実践していきます。「大学教育」も「地域教育」の一環であると位置づけ、学生同士が学びあい、支えあう共創活動をキャンパスの内外で展開し、沖縄本島南部を中心とする地域全体をキャンパスの場とする構想です。「地域教育センター」の新設によって、地域ぐるみで「共創力」を育む学生支援を実践することを試みます。



創立記念企画「沖縄大学は私が変える」 2007年6月

競争力から共創力へ

「地域教育センター」による地域教育の拠点づくり



※本プログラム(取組)は、4つのスクエアの諸活動である「プロジェクト」で構成される。

新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム (学生支援GP)

学生支援GPの目的は、学生の人間力を高め人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学・高等専門学校における、入学から卒業までを通じた組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果が期待される取組を含む優れたプログラムを選定し、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るものです。